

今月は美しいイラストで描かれた、大きな図鑑絵本をご紹介します。

『いきものづくしものづくし 1』

松岡 達英／[ほか作] 福音館書店 2021年 ¥2200(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児★★★ 小低学年★★★ 小中学年★★☆ 小高学年★☆☆ 中学生☆☆☆

高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

身近なものや、昔のもの、遠い国のものなど、さまざまな「いきもの」や「もの」を取り上げた図鑑です。39cm×30cmと大きく、広げると迫力があります。

1巻には「くだもの」「つの」「くちばし」「およぎのとくいなさかな」「ぶんぼうぐ」「くつ」「むかしのてつどう」の7つのテーマが収められており、「くだもの」にはバナナやスターフルーツ、「むかしのてつどう」ではD51やビッグボーイなどが載っています。イラストは絵本などで活躍している画家たちが描いており、どれも精密で美しく見ていて飽きません。

シリーズは全12巻です。それぞれに7つのテーマが収録されているので、全巻で84のテーマのものについて知ることができます。

<子どもに手渡す時のポイント>

自分の好きなテーマのページをじっくり見たり、集められたもの同士の違いを見つけたり、現物と比べてみたり、いろんな楽しみ方ができるでしょう。広げて中を見せてあげると、より興味を持ってもらえると思います。

別冊付録として「よんでたのしむいきものづくしものづくし」という冊子がついています。本体はイラストだけなのですが、こちらは取り上げたテーマについて、知識が深まるトピックが書かれています。例えば「くだもの」の項目には、動物が食べてたねを運ぶことや、たねのないくだものについての記述があります。別冊も一緒に紹介してあげるとよいですね。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

